

ほっかいどうの社会保障

2013年1月19日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

切実な道民の要求を道に届けましょう！

各団体が北海道に対して、交渉や懇談を進めています。16日、障道協が「障害者福祉」、17日、道医労連が、介護改善をテーマに行いましたので紹介します。31日は国民大運動実行委員会、2月6日には道生連が予定しています。

障道協

障害者の福祉の拡充を

1月16日に「障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会」（障道協）では、精神障害者や身体障害者、視覚障害者など40名余りが参加して、北海道と懇談しました。

精神障害者の公共交通機関の運賃割引や医療費助成、車イスの駐車スペース、視覚障害者用のワンセグラジオの給付や金融機関での代筆の問題など、切実な要望を次々と訴えました。



ワンセグラジオは昨秋に販売。価格は2万円前後です

精神障害者のバス料金の割引では、国がバスの標準運送約款を改正し、バス会社に運賃割引を要請しましたが、バス会社の判断で、割引をしないことも認めるというもので、バス会社への、より一層の働きかけを求めました。車イスの駐車スペースや、視覚障害者のワンセグラジオの給付などでは、進展がみられましたが、わずかな年金で暮らす、多くの精神障害者の医療費助成の問題や、障害者の道営住宅の入居の問題などについては、道は従来からの、答弁を繰り返すだけです。道民である障害者の切実な要望に真摯に耳を傾け、道政に取り組むことが求められます。



道医労連

介護制度の改善を

介護職員の低賃金では認識一致

1月17日、道医労連は、介護施策の強化を求める対道交渉を行い、32名が参加しました。交渉では、道に対し、①介護職員の労働条件改善と大幅増員、②訪問介護・生活援助の時間短縮撤回などを訴えました。

介護職員の処遇を改善する施策を

道は「介護従事者処遇状況等調査」実施中

道は、「道内の介護労働者の実態をどう考えているのか」との質問に対し、「道内の介護職員の平均賃金は



正規で19万円、非正規で16万円。他産業より相当低いと認識している」と回答、その後の質疑で「介護の責任は道にもあり、国に対して財政措置を強く要望している」とも答えました。しかし、現在の介護職員の充足率については、「求人数と求職数は均衡しており、逼迫した状況ではない」と介護職員は足りているという認識をしめました。

参加者から、「グループホームなどの現場では、複数夜勤にしたいくても、賃金が払えずやむなく1人夜勤にしている。道も福祉人材センターも実態を理解していない」「処遇改善加算で利用料負担が増え、サービス利用を減らす利用者さんもいる。最低限度の生活を支える介護サービスをもっと使いやすくするべきだ」と発言しました。

道は、全事業所に「介護従事者処遇状況等調査」（1月末まで）を実施中、結果も踏まえて対応すると回答。

生活援助の時間削減を取りやめるよう国に働きかけを

生活援助問題で「自治体や事業所から重大な影響が出ている」との指摘に対して、道は「自治体からも国からもそういった声は聞いてない」とし、「今後、地域の声や、国の調査をみていきたい」と回答しました。

参加者からは「この削減で利用者さんから現場に苦情が寄せられている。厚労省はヘルパーを機械扱いしている」と発言しました。最後に道医労連は「介護の問題は、道民が生きていく上で根幹に関わることであり、各地域の声をさらにつかんでほしい」と要請しました。（勤医労FAXニュースより）

相談無料

反貧困ネット北海道 労働と生活の総合相談会



1月23日（水） 11:00~16:00 エルプラザ 3階ホール